

平塚市 地方創生関係事業 企業版ふるさと納税

1. 波力発電の低コスト化を図る技術開発

気候変動に技術革新で挑む！

環境省CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業

平塚市 平塚市協力

平塚波力発電所

平塚新港で稼働中！



事業期間：2018年度～2020年度
事業目標：世界に先駆けて実用化のベースとなる新型波力発電装置「反射波を活用した油圧シリンダ鉛直配置式波力発電装置」を開発する。
大型で軽量のアルミ・ゴム複合ラダー（波受板）を採用し、波高1.5m以上で45kW（発電端出力）、変換効率50%、設備利用率35%以上（参考：洋上風力目標30%）の発電能力を目指す。
設置場所：ひらつかタマ三郎漁港南防波堤沖

危険なため関係者以外立入禁止



事業の詳細、見学会日程、
迫力ある動画もウェブで



看板設置者：平塚市産業振興部産業振興課



背景・目的・現状

1. 平塚海洋エネルギー研究会は、2016年度から波力発電の研究開発に取り組中
2. 気候変動（気温・海面上昇）への世界的な対応（脱化石燃料、再生可能エネルギーの増加等）に貢献する
3. 2021年度、平塚新港で平塚波力発電所の海域実証中。ヤフー株式会社から企業版ふるさと納税による寄附を受ける

課題

- ・波力発電所設置のトータルコスト削減
- ◎工事方法
- ◎構造物 など
- ・エンジニアの育成
- ◎電気、機械、土木の組み合わせ
- ◎電気事業法

企業に求めるもの

- ・企業版ふるさと納税による寄附（人材派遣型も想定）、共同研究開発

企業のメリット

- （技術系）共同研究開発、波力発電事業への参入機会
- （電力系）再エネ電源の開発、事業化機会

平塚海洋エネルギー研究会のウェブページ

http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/sangyo/page-c_01629.html

平塚市 産業振興部 産業振興課

e-mail sangyo-s@city.hiratsuka.kanagawa.jp

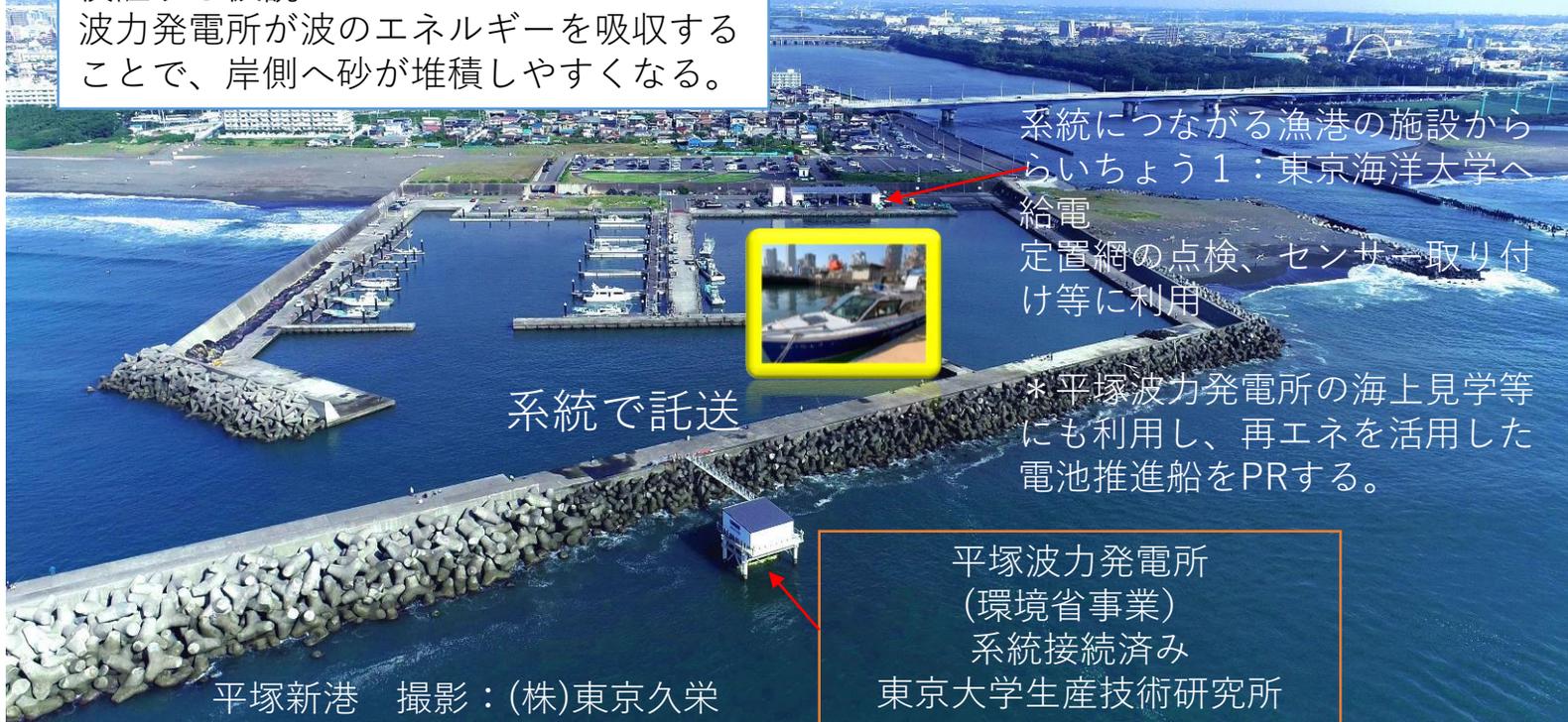
Integration to innovation

平塚市 地方創生関係事業 企業版ふるさと納税

2. 漁業の脱炭素化と国土強靱化の同時解決法の実証 2021年度予定

検証する仮説：

波力発電所が波のエネルギーを吸収することで、岸側へ砂が堆積しやすくなる。



背景・目的・現状

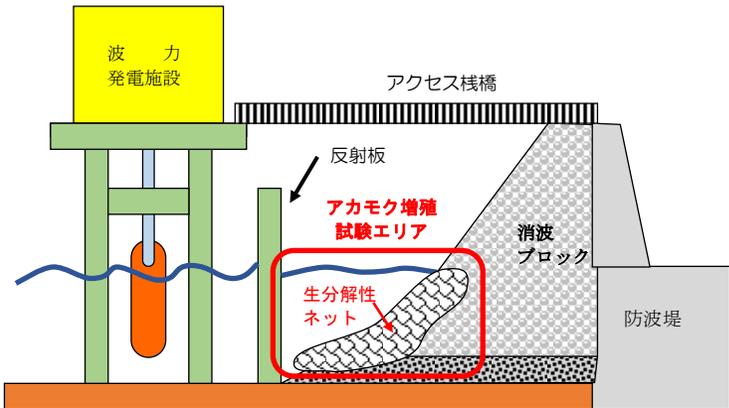
1. 平塚海洋エネルギー研究会は、2016年度から波力発電の研究開発に取り組中
2. 気候変動（気温・海面上昇）への世界的な対応（脱化石燃料、再生可能エネルギーの増加等）に貢献する
3. 2021年度、ヤフー株式会社から企業版ふるさと納税による寄附を受ける

事業

1. 新型平塚波力発電所（1 MW）のFS
2. 電動船への給電、漁業利用
3. 発電所周辺でのブルーカーボン実験

課題

- ・研究開発要素が複数あり、中長期的資金の確保が必要



アカモク増殖試験エリアのイメージ

企業に求めるもの

- ・企業版ふるさと納税による寄附（人材派遣型も想定）、共同研究開発

企業のメリット

- （技術系）共同研究開発への参入機会
- （商社系）研究成果の横展開



平塚市 産業振興部 産業振興課
e-mail sangyo-s@city.hiratsuka.kanagawa.jp
Integration to innovation